



Don Lewis



□ 49 鍵 □

最先端モデリング・テクノロジー「ボーカル・デザイナー」搭載。
 明瞭な歌詞表現や抑揚など、リアルで自然なボーカル表現が可能。

マイク（別売）を接続し、歌いながら鍵盤を弾くだけで、大聖堂に響きわたる聖歌隊の合唱も、ファンキーなゴスペルの歌声も、ポップスやロックのバック・コーラスも再現。従来のサンプラーやシンセのクワイア・サウンドとは違い、明瞭な歌詞表現や抑揚にも対応して、きわめて美しく自然なボーカル表現が可能です。荘厳な響きのクラシック、男声・女声キャリアを別々に持った混声合唱のメイル&フィメール、特有の歌いまわしや音のぼらつきも再現したゴスペル、ポップ、ポコーダー1/2の6種類の音色を内蔵。外部から入力した音をキャリアやモジュレーターに使うことも可能です。



■「ボーカル・デザイナー」パート

PCM音源によるリアルな「アンサンブル」パートと組み合わせ、
 さらに重厚で、多彩なサウンドを演出することが可能。

アンサンブル・パート用の音色として、ストリングス1/2、ジャズ・スカット、ミックスド・コーラス、ボーイズ・クワイア、ハミングを併載しています。いずれもボーカル・デザイナー・パートと組み合わせることを前提に厳選した音色群。いっそう重厚な雰囲気を出したり、より多彩なボーカル表現が可能です。また、ハミングやストリングスといった音色は、マイクからの声やペダル操作で、リアルに抑揚のコントロールを加えることもできます。



■「アンサンブル」パート

高品位なヒューマン・ボーカル・モデリングにより、
 きわめて自然な「声の演奏」ができる画期的なキーボードです。

「ベース&パーカッション」パートも備え、
 低音域を使ってボイス・ベースも簡単。

鍵盤の低音域を使って同時に演奏可能なベース&パーカッション音色として、ベース1/2/3、パーカッションの4種類を内蔵。音色を選ぶだけで鍵盤がスプリットされ、左手でベース・ライン、右手でコードとメロディを演奏すれば、アカペラ・コーラスもVP-550一台で再現できます。

すべてのパラメーターをパネル上に配置。
 高い演奏性とシンプル操作を両立。

弾きやすいフル・サイズ49鍵おもり付き鍵盤を採用。全パラメーターをパネル上にレイアウトしてシンプル操作を実現。マイク入力はXLRタイプ。VP-550の出カサウンドを10秒間にわたって録音/再生でき、リハーサル時に演奏を客席で確認できるサウンド・チェック機能も装備しています。

Vocal & Ensemble Keyboard

VP-550

オープン価格

■リア・パネル

